

講演

知らない、知りたい琉球、沖縄

— 沖縄戦、占領そして基地に対するオール沖縄 —

【講師】太田昭臣先生（元琉球大学教授）

【日時】2018年12月11日(火)18時00分～20時30分

【資料代】500円

【会場】つくば市小野川交流センター 会議室(つくば市館野477-1)

1945年の大戦末期に米軍が上陸した沖縄戦では、県民の4人に1人にあたる20万人の方々が亡くなりました。戦後は27年間も米国の占領下となり、1972年日本に復帰しました。しかし、米軍基地が置かれ、差別的な地位協定により事故・事件が起きています。そして今、辺野古の新基地建設に、保革が「オール沖縄」で反対しています。沖縄(琉球)の歴史を振り返るとともに、「陸軍中野学校」出身者によって組織された少年ゲリラ部隊「護郷隊」についても、説明していただきます。



<プログラム>

18:00 開場

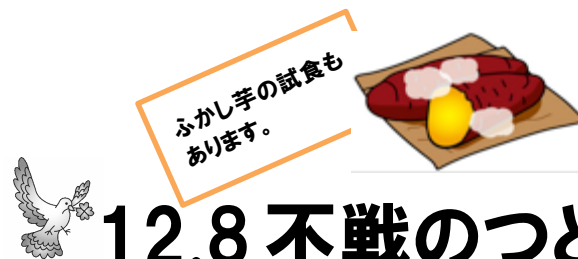
18:10～受付開始

18:20～開会のごあいさつ

18:30～講演: 知らない、知りたい琉球、沖縄
— 沖縄戦、占領そして基地に対するオール沖縄 —

20:00～質疑応答

20:30 閉会のごあいさつ



12.8 不戦のつどい

あなたは12月8日が何の日か知っていますか？ 日本でもかつて戦争がありました。

12月8日は第二次世界大戦中の1941年、日本が、アメリカ、イギリス、オランダ領を奇襲攻撃して太平洋戦争が開始された日です。(第二次世界大戦が終了した時点でのおよそアジアで2,400万人、日本で310万人の命が失われました。)戦争を絶対繰り返さないために、つくばでは戦争体験を語り継ぎ、平和を守り活動を交流する「不戦のつどい」を毎年12月8日前後に開いてきました。

主催: 「12.8 不戦のつどい」実行委員会(問い合わせ先: 12.8notsudoi@gmail.com)

<参加団体> 順不同(12月1日現在)

新日本婦人の会つくば支部、つくば市母親連絡会、新しいつくばを創る市民の会、憲法9条の会つくば、研究学園都市研究所・大学9条の会、つくば市平和委員会、産総研平和の会、全農林筑波分会協議会、日本科学者会議茨城支部、学研労協、筑波研究学園都市平和委員会